

⑨ 農学部創設30周年記念彫刻 「望蒼天」



弘前大学農学部創設30周年記念事業の一つとして、弘前大学農学部同窓会が当時弘前大学教育学部美術教育助教授であった岡田敬司先生（弘前大学名誉教授）に依頼し制作されたものです。真上から見ると漢字の「田」の字になっていて、地面から太陽に向かって萌え出ている生命体を思わせるような白石のモニュメントです。現在の農学生命科学部正面玄関向かって右側に設置されていて、彫刻の脇には「望蒼天」の命名由来が記されています。

〔引用文献〕

1. 弘大農学部同窓会（編）（1984）．弘大農学部同窓会学会報, 4, 1-2.
2. 弘大農学部同窓会（編）（1984）．弘大農学部同窓会学会報, 6, 1-4.

望蒼天

このモニュメントは、弘前大学農学部創設30年を記念し、同学部同窓会によって建立された。

その意図するものは、生命の具現化であり、象徴化である。

若い学徒が草魂を持って、未来に立向って、力強く、逞しく生長していく様を象徴し、又、それを祈念している。

そして、限りなく高みを望むことを祈って「望蒼天」と命名した。

岡田敬司